

予 算 要 求 資 料

令和4年度12月補正予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

事業名 高齢者施設等感染症拡大防止対策事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 高齢福祉課 施設整備係 電話番号：058-272-1111(内2969)

E-mail：c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 88,435 千円 (現計予算額： 474,027 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	474,027	0	0	0	0	0	474,027	0	0
補 正 要求額	88,435	0	0	0	0	0	88,435	0	0
決定額	88,435	0	0	0	0	0	88,435	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

新型コロナウイルス感染症について、高齢者施設等において感染者又は感染が疑われる者が発生した場合、施設内での集団感染を防止するための対策が求められている。

(2) 事業内容

①新型コロナウイルス感染拡大防止のための多床室の個室化改修事業

介護施設等において、感染が疑われる者が複数発生して多床室に分離する場合に備え、感染が疑われる者同士を空間的に分離するための個室化整備経費を補助する。

<補助対象施設>特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院、有料老人ホーム、認知症高齢者グループホーム等

②簡易陰圧装置設置事業

介護施設等において、新型コロナウイルス感染拡大のリスクを低減するためには、ウイルスが外に漏れないよう、気圧を低くした居室である陰圧室の設置が有効であることから、居室等に陰圧装置を据えるとともに簡易的なダクト工事等に必要の費用に対し補助を行う。

<補助対象施設>全ての入所系高齢者施設等

- ③新型コロナウイルス感染拡大防止のためのゾーニング環境等の整備事業
 ユニット型である介護施設等において各ユニットの共同生活室の入口に
 玄関室の設置等を行う事業、従来型個室・多床室である介護施設等におい
 て感染者と非感染者の動線を分離することを目的として改修を行う事業、
 介護施設等において面会の際に利用者とその家族が接することのないよう
 に面会室への出入り口を複数設置する事業に必要な費用に対し補助を行う。
 <補助対象施設>全ての入所系高齢者施設等

【補正理由】 補助対象整備事業の追加により、補助予定額を増額するため。

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率：県10/10（補助単価①978千円／床数、②4,320千円／台、
 ③1,000千円～6,000千円／箇所数）

県負担：国交付金2/3、県費1/3の割合で積み立てた「岐阜県地域医療介護
 総合確保基金」（平成27年度創設）を活用

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	88,435	高齢者施設等における集団感染防止対策経費に対する補助金
合計	88,435	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策において位置付けられている。

(2) 国・他県の状況

他都道府県においても同様の補助事業を実施している。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
高齢者施設等における新型コロナウイルス感染拡大を防止する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

感染症対策として実施する事業であり、指標の設定には馴染まない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 以下のとおり補助を行った。 ○簡易陰圧装置の設置 27施設（うち繰越 9施設） 簡易陰圧装置の設置への支援により、施設内での感染拡大防止対策を推進することができた。
令和 3 年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	新型コロナウイルスの感染拡大防止対策事業であり、必要性は高い。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	各高齢者施設等において新型コロナウイルス感染拡大防止対策が進み、期待通りの成果が得られている。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	定期的に各事業者の意向確認を行うことで効率化を図っている。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 感染症拡大防止のため、早急な対応が求められる。

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 感染症の状況や国の対応などを踏まえ、柔軟に対応していく。
